



生徒会執行部員と委員会委員長が学校運営協議会で熟議（高千帆中学校）

高千帆中学校の第1回学校運営協議会では、生徒が学校運営協議会委員と教員に生徒会運営ビジョンを説明した後、確かな学力、豊かな心、健やかな体の部会に分かれて、目標達成のための具体的な手立てについて協議しました。生徒は、自分たちの考えをしっかりと伝えたり大人の意見に対してはきはきと答えたりしていました。また、予定時間を過ぎても、熱心に協議を深めました。参加した生徒にとっては、異なる立場にある者同士が意見を出し合う中でお互いの立場や考えを知り学ぶ貴重な機会になりました。



小中連携教育研修会（小野田中学校、小野田小学校、須恵小学校）

小野田中学校区内の2小1中では、今年度リーディングDXスクール事業を受けており、授業改善や校務改善の手段としてICT機器を効果的に活用する研究に取り組んでいます。第1回の研修会は小野田中学校で開催され、初めに小野田小学校と須恵小学校の教員が授業を参観し、続いてオンラインで文科省から事業の説明がありました。最後に、3つのテーマに分かれて、生徒指導上の課題や連携して取り組む事柄、授業や校務におけるICT機器の活用状況等について協議を行い、今後の研究推進に資する研修会になりました。



梅もぎ（高泊小学校）

高泊小学校には、茶畑と同様に子どもたちが楽しめるようにと梅の木が20本あります。梅雨に入る前に、全校児童が縦割り班に分かれて伝統行事の梅もぎを行いました。児童が安全に活動しやすいように、事前に保護者や地域の方が下草を刈ったり、当日は竹で梅の枝を揺すったりしてくださいました。子どもたちは、背伸びをしてもいだり落ちた実を拾ったりして大いに楽しみました。「やったーたいりょうだ」「梅ジュースが飲める」「梅干をつくりたい」などと昨年より多く収穫できた梅の実を見て喜んでいました。

